

岡山県

# せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL:086-221-4301 ホームページ <http://okayama.kenren-coop.jp/>

雲海(弥高山から2010.10.11)

エッセイ

## 散策

武部 吉治(県生協連副会長理事・三井造船生協理事長)

私ども三井造船生活協同組合は、1950年に造船所構内に設立され、順次居住地域へ店舗が展開され、居住地職域生協として今年で60周年を迎えることになりました。

設立当初の戦後の混乱期には、国民の生活も厳しく、食料品、日用品等の物資の供給も困難を極め、生協も大いに地域住民の生活支援の役割を果たしてきたが、現在は生活水準もはるかに向上し、贅沢品を含むあらゆる商品が世に溢れ、どこでもそれらが容易に手に入る時代となった。

小職は今年の4月に三井造船生活協同組合に勤務することになりましたが、かかる時代の流れに対して、購買生協として必要とされるものは、幣生協にとってはこれから何であろうかと考えると、今日でも設立当初と変わらず、地域、職域の方々の目線に立ち、住民の方々の生活にいかにお役に立つことが出来るかにあると考える。

その一つは玉野市を中心とした地域はご多分に漏れず、少子高齢化の波が早いスピードで押し寄せており、巷で言う「買い物弱者」、「買い物難民」が年々増えてきている。今後店舗に来るのに苦労される方々のために、共同購入の充実、移動車販売、将来的には電話・ネット宅配でのサービスも必要と考える。また居宅介護、通所介護といった介護サービスを充実させることも地域の方々のお役に立てるものと考えている。

いずれにしても、時代が変わってもいかに地域、職域の方々に密着したサービスを提供出来るかにかかっていると考える。

# …岡山県生協連が参加

## ●岡山県協同組合連絡協議会交流会



開会挨拶の村上進通協議会会长

ご来賓の林 弘明 県食農政策企画監

7月20日(火)、国際協同組合デーを記念して、県内の3協同組合の役員と県農林水産部職員など総勢78名の参加で行われました。村上進通協議会会长(JA岡山中央会会長)の開会挨拶につづいて、県食農政策企画監の林弘明氏よりご挨拶をいただきました。

基調講演では、三重大学大学院教授の石田正昭さんから「今求められる協同組合における人づくり」と題してお話しを伺いました。

「協同組合は組合員の幸福追求に加え、地域社会の人々の役に立つことも求められている」などと話され、参加者4名から質問・発表があり、講師のコメントを含め、「協同組合における人づくり」「協同組合理念、価値共有の大切さ」などについて認識を深めました。



講師の石田 正昭先生

## ●9/14(火) 食糧・農業についての地域内交流会 (主催:JA岡山・JA岡山女性部、会場:JA岡山 西大寺支所)

「見直そう、生命の源『おこめ』～米粉を上手に使おう～」と題した、黒川由和さん(中国四国農政局業務管理官)の講演。



生産者と消費者との意見交換会では、生協おかやまコープ全体理事の前場早苗さんがパネリストとして参加。「おかやまコープも、米の消費拡大に取り組んでいる。組

合員活動では、米粉を使ったレシピ提案などもされている」と紹介。

講演・意見交換会に先立って行われた、地域農産物と米粉を使った料理の会食では、「米粉を使ったシチューや酢豚などはとてもあっさりとしておいしかった。米粉はダマにならないと聞き参考になった。料理に生かせそう。」などの感想がありました。

## ●第26回中四国生協・行政合同会議

9月1日(水)、高松にて厚労省中四国厚生局、日本生協連役員(渉外広報部長)、香川県総務部、中四国9県の行政より11名、生協より48名の計61名参加で開催されました。

「安心できる暮らしづくりと、共助社会への貢献にむけて」をテーマとして行われた会議では、各県行政担当者から生協への期待や意見等が述べられ、つづいて、以下の報告がされました。

- |      |   |
|------|---|
| 特別報告 | 「第11次全国中計概要と買い物難民の現状と生協対応について」(日本生協連)<br>「消費者行政活性化事業の取り組み」(香川県)   |
| 活動報告 | ①「おたがいさまの活動について」(生協しまね)<br>②「地方消費者行政の取り組み」(山口県連)<br>③「(株)ヘルスコープかがわによる、介護サービス事業の取り組み」(香川医療生協)<br>④「廃油リサイクルの取り組み」(コープかがわ) |

最後に、次回開催県を広島県とすることを確認して終了しました。(開催時期は10月頃とする)

# する最近の行事から…

## ●医療部会外部研修(愛媛医療生協)

9月30日(木)、「ロックを単位にした組合員活動から学ぶ」を研修テーマに、岡山医療生協3人、倉敷医療生協3人、津山医療生協2人の計8人が愛媛医療生協を訪問視察しました。



### 《組織概要》

組合員数	40,359人
出資金	8億4,619円
支部数	53
班数	590

### 参加者の感想から

ロック活動では、理事の責任を明確にし、事業所とともに活動を進めている様子がよく分かった。また、それぞれの会議が果たす役割を明文化している点で、担い手が変わってもその役割が確認できるなどを学ぶことができ、今回の研修を通して、支部活動やロック活動を生き生きとすすめていく動機付けとなった。

## ●「菜の花を植えるつどい」

10月15日(金)総社市上林の吉備路風土記の丘(こうもり塚古墳南側)にて、岡山県菜の花プロジェクト推進協議会の主催で平成22年度「菜の花を植えるつどい」が開催されました。(県生協連、県消団連も推進協議会の会員として参加)



村上進通 推進協議会会長のご挨拶↑



秋晴れのもと、推進協議会会員、総社市ひかり保育園園児など約80人が参加し、協議会会長の村上進通JA岡山中央会長の開会挨拶、来賓の片岡聰一総社市長の挨拶につづき、園児と協議会会員等により菜の花の苗約800本が植え付けられました。

昨年は、耕作放棄地など25haに作付けされ、4tの菜種からは1tの油が搾油されたということです。菜種油は、食用にしたり、廃食油はバイオディーゼル燃料として利用されます。

←園児とともに、村上会長(左)と片岡総社市長(右)

## ●岡山県に「要望書」を提出

岡山県生協連は、10月14日(木)岡山県に要望書を提出しました。

要望は、生協の育成、消費者行政、食の安全・食育、災害対策、環境対策、保健・医療・福祉・介護・少子化対策、地産地消運動、2012協同組合年への参画等の分野を中心に29項目となっています。(要望項目は8ページ)

明年の2月に予定される県民生活部 くらし安全安心課との懇談会で要望に対する回答をいただくことにしています。



要望書を手渡す安場県生協連会長(右)、左は房野くらし安全安心課課長

# NPO法人消費者ネットおかやまから お知らせ

第10回消費者被害なんでも相談会を開催します

とき 11月27日(土) 10時~15時

ところ きらめきプラザ(岡山市北区南方2-13-1)

●会場にお越し下さい

きらめきプラザ5階

県消費生活センター研修室

●電話でもご相談できます

(086)-801-7007 (当日限り)

予約不要・時間制限なし・無料・秘密厳守



## 会員募集集中！

NPO 法人 消費者ネットおかやまとは？

「消費者ネットおかやま」は、消費者被害による消費者の「泣き寝入り」や悪質事業者の「やり得」を防ぎ、消費者全体の利益を守るために、消費者団体訴訟制度の導入を機に設立した団体です。

会は、団体・個人を会員として、弁護士など専門家や消費者で構成する幹事会を中心に運営されています。

会への加入は、どなたでも年会費の納入で可能です。

●団体正会員 年会費 1口 1万円

●個人正会員 年会費 1口 3千円

(いずれも1口以上でお願いします。)

玄関先用  
フッペン  
まわりの人々  
普及を！



お問合せ先：NPO法人消費者ネットおかやま事務局

(岡山県消費者団体連絡協議会気付) TEL 086-221-4302

ホームページ<http://okayama-con.net>にアクセスしてください

ご質問・ご要望はメールアドレス [shounet@okayama.coop](mailto:shounet@okayama.coop)までお願いします。

## 第3回理事会 報告 開催日時 2010年10月8日(金)

〈おもな報告事項〉 ① 前回理事会以降の取組み

- ② 平成22年度「地方消費者グループ・フォーラム」実行委員会へのお誘い
- ③ 9月度収支決算報告 \*中間監査結果について
- ④ 2010年度県生協連会費 確定値について

〈協議事項〉 ① 他生協訪問研修の件

- ② 岡山県への「要望書」提出の件
- ③ 県議会議員との懇談会等の取り組みについて
- ④ 県生協連・会員生協役員研修交流会開催の件

〈案内事項〉 ① 「菜の花を植えるつどい」の開催 10/15(金)

- ② 第24回岡山県消費者大会 10/26(火)

- ③ おかやまエコ&フードフェア2010 11/6(土)・7(日) ほか

# 中秋の吉備路



(吉備路風土記の丘をのぞむ)

## 当面の行事など お知らせ のページ

開催日	行事名(会場等)	企画内容など	主 催
2010年 10月 30日(土)	おかやまコープのハッピーフードパーク (コンベックス岡山)	北海道の味わいオンステージ 本まぐろ解体ショー・大抽選会	おかやまコープ
11月 1日(月) 3日(水) 11日(木)	文化講演会 (13:30~岡山市民会館)  第12回高齢者主張大会in岡山 (10:00~JA岡山ビル)  医療生協組合員活動交流集会 (10:00~おかやまコープ:コープ院庄)	「よろこびを力に…」をテーマに有森裕子さんが語りかける。(無料)  “私も参加、地域の絆”をテーマに人生の達人が語る。 県生協連も応援しています。  「院所利用(運営)委員会活動」をテーマに話し合います。 津山・岡山・倉敷医療生協の組合員、約50名が交流します。	県労済生協 県高齢者福祉生協 県生協連
12~13日(土) 14~16日(火)	第49回全国消費者大会(東京) 初日:全体会 二日目:分科会  県生協連外部研修	「安心して暮らせる社会のために」をテーマに～私たちの発信・行動・ネットワーク～をキーワードに話し合います。  長野県生協連を訪問、「高齢者福祉活動」の実際を学びます。	全国消団連 県生協連
27日(土) 29日(月)	第10回消費者被害なんでも相談会  県議会議員との懇談会	会員の弁護士、司法書士、相談員など専門家が対応します。  県生協連の役員と県議会議員との懇談。今回22回目となります。	消ネットおかやま 県生協連
12月 19日(日)	岡山協立病院オープン50周年記念	岡山シンフォニーホールを会場に、講演会・アトラクション企画。(500円)	岡山医療生協
2011年 1月 7日(金) 25日(火)	県生協連・会員生協役員研修交流会  中国・四国ブロック消費者グループ・フォーラム	「消費生活協同組合運営指導委託事業」の一環として実施。  消費者庁・全国消団連のよびかけで、消費者団体による実行委員会が作られ、消費者行政の充実に向けて企画実施されます。	県生協連 フォーラム実行委員会
2月 4日(金)	組合員活動交流集会 (10:00~オルガ)	「高齢者が安心して暮らせるまちづくりを考えよう」をテーマに講演と会員生協による活動報告を中心に交流します。	県生協連

# 会員生協

## 【倉敷医療生協】

機関紙「くらしき医療生協」が100号を迎えました。

昭和33年2月に創刊され50余年、医療生協の動脈としての役割を果たしてきました。



倉敷地区の南東部に40番目の支部が誕生

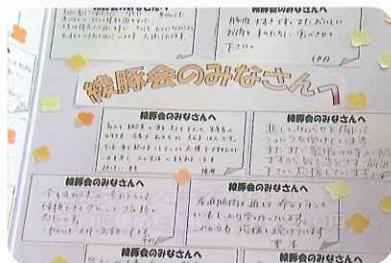
源平合戦由来の古跡

多く、その名も「倉敷  
南源平支部」です。



## 【グリーンコープ生協おかやま】

2009年度も子ども達の農業体験・ファームステイ…



を夏休み初日の7月18日～19日に実施しました。

総勢15名の子ども達が牛への飼料を食べさせたり、子牛のお世話や牛舎の清掃などを行いました。農業体験を通じて、改めて農畜産業の大変さや大切さを知る機会となりました。また、楽しかった思い出は「壁新聞」にして整理しました。



グリーンコープでは口蹄疫で大変なご苦労をされた生産者に、メッセージと義捐金をお届けする取り組みを行いました。

殺処分を余儀なくされた生産者の中には、まだ生産再開には至っていない方もいますが、今後とも安全な食べものの生産を継続していただくことを願い、利用普及の取り組みもすすめながら応援していきます。

## 【三井造船生協】

児島湖流域の清掃大作戦(岡山県主催)に参加



三井造船家庭会の環境委員会は、1992年より毎年8月に児島湖流域を中心とした玉野市、岡山市、倉敷市の河川23箇所の水質調査を実施しています。

今年も水の透明度とCODパックテストを行い河川の汚染度を測定しました。

## 「ベリーズセレスト田井」がオープン

昨年末、三井造船生協葬祭場2号店となる「ベリーズセレスト田井」がオープンしました。

厨房が完備され、専用シェフによる会席料理をご用意できるようになりました。また、法事専用のホールも併設され、さらに便利になりました。



ベリーズセレスト田井

# トピックス

## 【岡山医療生協】

～医療生協を支えてくれてありがとうございます～感謝の気持ちで訪問しています

岡山医療生協では「お誕生日訪問」に取り組む支部が増えています。

普段あまり組合員活動に参加することができない高齢の組合員さんを対象に、お誕生日にあわせて訪問します。

訪問では安否確認も合わせて、最近の様子を伺ったり、医療生協のお話をさせていただいている。



操南支部お誕生日訪問



## 2010年度組合員集会

～生協強化月間を前にして～ブロック別の組合員集会を開催しました

今年は8つのブロックごとの開催にしたところ、参加者も増え(合計776人)、集会が今まで以上に組合員さん自身のものとなりました。

このことは、強化月間への大きなはずみとなっています。

← 吉井川東ブロックでは、氏平みほこ介護事業部長が学習講演

## 【おかやまコープ】

「もずく基金」サンゴ礁再生事業交流会に参加しました

8月18日～20日の3日間、もずくの産地沖縄の恩納村漁協で開催された、「もずく基金」サンゴ礁再生事業交流会に、おかやまコープから9名の組合員と職員が参加をし生産者との交流を図るとともに、もずく基金の取り組みの意義について理解を深めることができました。



もずく対象商品1品購入ごとに2円(店舗は1円)の基金を恩納村漁協が取り組んでいるサンゴ礁再生事業へ基金として積み立てています。

サンゴの植え付け体験をしました。



## 【津山医療生協】

9月から保健大学が始まりました。組合員が週1回の講習で7回の授業を受けます。3回目の授業は平福診療所の垣内先生の「体のしくみ」。模型を用いながら人の体の部位の名前や構造を説明すると受講生は「肺ってこんなに大きいん！」と興味深そうに見入っていました。



## 【県労済生協】

### 通常総代会・代表者会議終了のご報告



2010年7月30日(金)、ホテルグランヴィア岡山において、「全労済岡山県本部第34回通常総代会(岡山県労働者共済生活協同組合第53回通常総代会)」ならびに「全労済岡山県本部第1回代表者会議」を開催し、提案した全議案について、満場一致で承認いただきました。

# 10月14日に岡山県に提出した要望書の要旨

## 1. 生協の育成・強化について

消費生活協同組合運営指導委託料について、現行金額の予算措置の「継続」を要望します。

## 2. 消費者行政について

- ①県の消費者行政部門予算の「自主財源」を低下させないで、消費者行政の充実を図ってください。
- ②「地方消費者行政活性化基金の活用」と「地方交付税の消費者行政への使用」について、進捗状況の公開とともに、基金の有効活用を要望します。
- ③庁内に組織横断的な推進体制を設けるなど、消費者行政の一元化により機能の充実が図れるよう要望します。
- ④消費生活センターなど、消費者相談にあたる相談員の待遇改善、スキルアップなどのための財政面の強化を図ってください。
- ⑤消費者啓発の促進のためにも、消費者団体等との提携を図り、広報手段、予算措置等を含め、系統的に推進されることを要望します。
- ⑥テーマを設定した「消費者との意見交換の場（例：タウンミーティング）」を設けることなどについてもご検討ください。
- ⑦県民の消費者被害・トラブルの未然防止に向けて、活動している「NPO法人消費者ネットおかやま」に、相談情報を可能な限りご提供ください。

## 3. 食の安全・食育について

- ①県民の食の安全に関するリスクコミュニケーションの充実を図ってください。例えば、各地方局ごとに「講座」を開催することをご検討ください。  
また、本県の「食育および食の安全・安心推進条例」について、条例の存在意義と役割などについても広く知させてください。
- ②食品への“テロ”“偽装”“不正転売”などについて、ひきつづき、社会システムの整備を図り、行政や関係機関の連携した対応を要望します。
- ③食中毒、各種食品検査結果等の情報提供、健康食品等の監視の強化とともに、食品表示に関する信頼性、正確性の確保に努めてください。

## 4. 災害対策について

- ①風水害、地震等を想定した対策・訓練、発災時における通信手段、民間等との連携、ボランティア受入れ等が緊密に図れるよう要望します。
- ②新型インフルエンザ感染の情報網の整備、防災、迅速な救命・支援体制及び施設・設備等の環境整備等について、県民に周知を図ってください。
- ③県としても災害時における海運交通機能を見直し、国への要望を含め、必要な支援策を講じてください。

## 5. 環境対策について

- ①ステップアップしつつある「岡山県統一ノーレジ袋デー」の実施が、県民のコンセンサスを得て、全県下の運動に拡がっていくことを願っています。
- ②県内の温室効果ガス排出について、各部門での自主目標等の見直しとともに、幅広い事業者や県民参加で計画化されることを求めます。

## 6. 保健・医療・福祉・介護・少子化対策について

- ①高すぎる国民健康保険の「財政難→保険料値上げ→滞納増→財政難」の悪循環から抜け出すためにも、国庫負担割合を増やしてください。
- ②高齢者の医療費を「別勘定」とする「後期高齢者医療制度」を速やかに廃止し、高齢者の窓口負担の無料化と保険料負担の軽減を図ってください。
- ③「応益負担」を基本とする「障害者自立支援法」は廃止し、障害者の意向を大切に、利用者負担を本人の「応能負担」とする法律を制定してください。  
上記①～③は、県から国に要望して欲しい項目
- ④「救急医療の充実」や「産科、小児科の医師不足対策」を急ぎ、市町村の実態に即して体制・施設整備を図ってください。
- ⑤高齢化率の上昇とともに、高齢者の暮らしやすい地域生活インフラ充実化が求められます。早急に施策整備を図ってください。
- ⑥特別養護老人ホームなどについて。低負担で入所できる良質な介護施設を県の責任で早急に整備することを要望します。
- ⑦地域住民が認知症を学び認知症の方と家族を地域で支えていくために有効な「認知症サポーター」を養成する取り組みを更にすすめてください。
- ⑧介護員養成機関への助成と現任介護員に対する資質向上研修の実施、求職者と事業者的人材マッチング支援事業の強化充実を要望します。
- ⑨介護保険制度を充実させ、保険料については、本人収入を基本とする減免制度を拡充してください。
- ⑩ヒガワクチン予防接種とHPV予防ワクチン接種の制度化を国に要望してください。また、県として補助制度を創設してください。

## 7. 産消提携、地産地消運動について

- ①自給飼料の増産支援とともに、農政全般に関わって、再生産を可能とする「価格保障・所得補償措置」を実現するよう国に働きかけてください。
- ②新規に農業に携わる人や制度づくりへの支援とともに、生協と地場生産者との提携事業および県内の協同組合への一層の支援を要望します。

## 8. 2012年の国際協同組合年について

- ①県内の協同組合とともに、国際協同組合年に関して、県として準備段階からの積極的な参画をお願いします。